

統計

●一九一六年十月中獨逸に於ける鋼の製産高

一九一六年十月中の鋼製産高は戦争以來の新記録を作れり。十月以前の最高記録たる八月中の一、四一四、〇九七匁に對し十月中は一、四二三、五三五匁なりき。十月中の一日平均製産高は五四、七五一匁にして同しく六月は五四、九九〇匁なりき。十月中鋼の製産高を種別せは次の如し。

ベセマー鋼塊	六八四、〇〇三匁
平爐鋼塊	五九七、五三五同
鋼鑄物	一一七、八七一同
坩堝鋼	九、九四七同
電氣爐鋼	一四、二七九同

鋼鑄物の産額は新記録なり。尙一九一五年十月の鋼産額は一、二二五、二八七匁にして一九一四年十月は九〇〇、二〇一匁なりき。一九一六年十一月一日に至る十ヶ月間の累計は一三、三五四、四一八匁なり（一九一五年同期間は一〇、八九二、三七八匁なりき）。十月中の製産高は戦争開始前の月に比しその九〇パーセントに相當せり。

●米國に於ける一九一六年十一月中の鐵鋼

及ひ機械類の輸出

一九一六年十一月中に於ける鐵及ひ鋼製品的全輸出額は其の價額に於いて一九一五年十一月中のそれに比し六一・四パーセントの増加を示せるも本年の最高記録たる九月中のそれに比し一四・六パーセントの減少をなせり。而してその噸數より見れば一九一五年十一月中に超過する事五三・三パーセント、九月中より減少せる事一四パーセントなり。

十一月中の機械類の輸出高は一九一五年の同月に比し二〇パーセントの増加なれ共一九一六年八月に比し二三・五パーセントの減少を見たり。機械類輸出高の減少著しきは交戦諸國かその軍需品製造工場の設備を完成したるかためなり。機械工具の輸出高は一九一五年十一月中より増加せる事僅かに一パーセントにして去る五月に比し實に五三・三パーセントの減少なり。

一九一六年十一月末に至る十一月間の鐵及ひ鋼の全輸出額は高度の記録たる一九一五年同期間のそれを超過すること一二・八パーセントに及へり。而してその噸數に於いて一九一五年同期間に比し七四パーセントの増加をなせり。

一九一六年十一月中の鐵及ひ鋼製品の輸出額を金額にせば七七、五七〇、八四〇弗にして一九一五年及ひ一九一四年十一月中は夫々四八、〇五六、二二〇弗及ひ一五、六八九、四〇一弗なりき。一九一六年中の最高記録は九月中の九〇、

八九五、五九二弗なり。而して一九一六年十一月末に至る十一ヶ月間の合計は七七七、六二三、二五〇弗となる。

機械類の輸出——十一月中の機械類輸出は一八、九九九、四〇〇弗にして一九一五年同月中は一五、八三八、一一九弗なりき。一九一六年八月の中は二四、六五七、五九七弗にして其額猶多かりき。十一月中の金屬工機械輸出高は四、六八一、六五二弗にして一九一五年十一月中の四、六四四、七一三弗と大差なし。金屬工機械類輸出高の最高記録は一九一六年五月中の九、九三五、八〇六弗なり。十一月末に至る十一ヶ月間の總ての機械類の輸出高は總計二〇五、二三四、三一七弗なり。其の詳細は次表につき見るへし。

	十一ヶ月間		十一月	
	一九一五年	一九一六年	一九一五年	一九一六年
計 算 機	三、二八七	四、四三三	三、二八七	四、四三三
空氣壓搾機	三、七二三	六、四七一	三、七二三	六、四七一
釀造機械	三、五〇〇	六、五九	三、五〇〇	六、五九
貨幣表記器	八、九三五	二、六八三	八、九三五	二、六八三
同上部分品	一、三八八	八、七三	一、三八八	八、七三
綿 線 機	八、二	四、〇三六	八、二	四、〇三六
クリーム分離機	一、三三三	一、九八三	一、三三三	一、九八三
昇 降 機	二、四三六	二、六八五	二、四三六	二、六八五
電氣機關車	七、六〇〇	一、六三八	七、六〇〇	一、六三八
瓦斯機關(定置)	二、〇〇一	六、九三	二、〇〇一	六、九三
ガソリン機關	九、五五〇	二、九八三	九、五五〇	二、九八三
蒸 汽 機 關	二、九一〇	二、三三三	二、九一〇	二、三三三
其他の機關	七、七三	二、〇〇〇	七、七三	二、〇〇〇
同上部分品	五、〇六四	一、七五八	五、〇六四	一、七五八
洗濯機械(動力)	三、二六四	一、八六四	三、二六四	一、八六四

其他の洗濯機械	一、八八七	二、五八四	一、八八七	二、五八四
草刈機械	八、五五六	一、〇一六	八、五五六	一、〇一六
金屬工機械及工具	四、六四四、七三	四、六八一、六五二	四、六四四、七三	四、六八一、六五二
瓦斯及水量器	一、三三八	三、四八七	一、三三八	三、四八七
製粉機械	二、八八四	七、三三三	二、八八四	七、三三三
油井用機械	四、〇八五	一、五九三	四、〇八五	一、五九三
其他鐵山機械	九、六六六	七、五八八	九、六六六	七、五八八
製紙機械	六、七九	一、三九六	六、七九	一、三九六
印刷機械	一、三〇三	一、三三三	一、三〇三	一、三三三
唧 筒	四、九〇三	五、〇五三	四、九〇三	五、〇五三
製氷機械	三、七四四	三、七三三	三、七四四	三、七三三
裁縫機械	三、五〇三	四、〇六四	三、五〇三	四、〇六四
製靴機械	二、〇七三	六、七五七	二、〇七三	六、七五七
製糖機械	一、〇七五	一、八四九	一、〇七五	一、八四九
紡織機械	一、五五二	三、五八三	一、五五二	三、五八三
植字機械	二、四八〇	七、四三三	二、四八〇	七、四三三
タイプライター	七、六〇七	九、〇八九	七、六〇七	九、〇八九
風 車	五、四九七	八、一六六	五、四九七	八、一六六
木工用機械(製材)	三、六六九	六、三七二	三、六六九	六、三七二
其他の木工機械	五、三九三	八、五三六	五、三九三	八、五三六
其他の機械及部分品	三、三二四	三、四八八	三、三二四	三、四八八
合 計	一、五八八、二九	一、八九九、四〇〇	一、五八八、二九	一、八九九、四〇〇

鐵及び鋼の輸出——十一月中に於ける鐵及び鋼の輸出高は五五四、八五八噸にして一九一五年十一月中は三六二、七六五噸なりき。一九一六年の最高記録は九月中の六四三、七六三噸なりき。一九一六年十一月末に至る十一ヶ月間の累計は五、五二三、一四三噸にして一九一五年同期間は二、一五九、三四六噸なりき。次表は一九一六年及び一九一五年の十一月並に十一月末に至る十一ヶ月間の鐵及び鋼の輸

出高を示す。

鐵 鋼 第 參 年 第 貳 號

	十一月中		十一ヶ月間	
	一九一五年	一九一六年	一九一五年	一九一六年
鐵 鋼	二四、五二	一〇、七六六	三〇、六九三	五〇、七四六
屑 鐵	四、九八七	一、九五五九	六、〇八五	一九、七九五
棒 鐵	五、七六六	四、〇三九	三、五七五二	六、七四四
線 材	一、六三三九	一、二四五三	一、五二五五	一、四四七五
棒 鋼	三、八八三	五、七八二	三、五、九七〇	七、〇七〇八
ピレット、インゴット及びブルーム	五、九二〇	一、三五〇三八	五、二〇八八六	一、三四五、八二六
ポルト及びナット	三、七〇一	二、一五九	二、〇、九八四	二、六、九四
輪 及 帶 鐵	三、九六八	二、五四八	二、六、三三〇	四、〇、九六三
馬 蹄 鐵	七、五〇	四、〇九	一、五、三八	七、六七四
切 釘	四、五六	三、三六	三、九六八	四、五、九
軌條用スパイク	三、四四四	一、二八九	一、〇、六七〇	三、二、四六一
針 金 釘	八、三七五	二、二四七	八、一、四四	一、三、九、一五九
其他の釘類	九、六六	一、七六八	八、一、六六	一、一、〇九〇
鑄鐵管及附屬品	三、〇四	五、四六三	四、一、八五	六、四、四九八
鍊鐵管及附屬品	一、〇、九	一、九、三三七	一、一、五九四	二、四、一、九三
煉房及び室内加熱用 流 罐	一、〇六	一、二	一、一、九五一	二、二、六
軌 條	五、八、三三	五、五、〇三	三、五、〇、六六〇	四、九、三、三四
亜鉛引鐵板	四、二八	六、九〇〇	七、一、九八九	七、六、五七
其他の鐵板	三、六八	三、九六四	三、一、九六四	四、二、六六
鋼 厚 板	一、八、五四三	二、七、〇九三	二、〇、四、五六六	二、四、九、八八五
鋼 薄 板	五、六五八	七、四二六	九、〇、九一	九、五、五二八
建築用鐵及鋼	二、四、七四	二、八、九〇	二、四、〇、七	二、六、〇、〇一
鋁 力 鋇	一、五、五八	一、五、八七	一、七、五八九	二、〇、九、二九
バルブ、ソイヤ	二、九、六三八	二、三、五三九	二、三、四、四四	四、〇、〇、六三
其他の針金	一、七、九二	一、八、九五五	二、〇、八、五七	三、四、九、〇三
合 計	三、六、七、六五	五、五、四、八八八	三、一、五、九、三四六	五、五、三、一、四三

鐵及ひ鋼の輸入——十一月中の鐵及ひ鋼の輸入高は一九

一五年十一月中の三七、一三〇噸に對し四二、五四三噸にして屑鐵及ひ鋼の輸入増加せる爲なり。

一九一六年十一月末に至る十一ヶ月間の總計は二七五、七三四噸にして一九一五年同期間は二四六、九九四噸なりき。

	十一月中		十一ヶ月間	
	一九一五年	一九一六年	一九一五年	一九一六年
滿 僉 鐵	八、一五	七、六一	四、八九五	六、四四七
硅 素 鐵	八、二三一	七、五五五	七、三、三二一	四、七、二九一
其他の銑鐵	一、八、八八一	二、五、〇九五	五、九、三一六	八、四、六一五
屑 鐵	一、〇〇一	四、五九	八、二、三六	七、四、二四
棒 鐵	一、七二	九、九	一、四、三〇	一、二、二
建築用鐵及ひ鋼	三、一、四一	二、四、二	四、三、九七	九、〇、一三
鋼片(合金を除く)	七、五九	一、〇、九四	九、七、二一	一、四、五、七六
其他の鋼片	三、三〇五	八、四六	七、七、二四五	二、五、七七七
軌 條	二、六八	一、一一	一、三、〇八	一、四、九一
厚板及び薄板	五、四	三、八	二、二、八〇	九、七五
鋁 力 鋇	五、六七	一一	四、八、四五	三、四、七八
線 材	三、七、一三〇	四、二、五四三	二、四、六、九九四	二、七、五、七三四
合 計	三、七、一三〇	四、二、五四三	二、四、六、九九四	二、七、五、七三四

●英國に於ける十一月中の鐵及ひ鋼の輸出

十一月中英國に於ける鐵及ひ鋼の輸出は主として同盟國に供給したるものにて二二四、五五四噸(但し鐵鑛を除き屑鐵を含む)なりき。これ一九一六年中に於て最少なるものなり。英政府の輸出禁止によりて近時輸出高の頗る減少せるを見る。一九一五年十一月中の輸出高は實に三〇八、三

一九噸なりき。一九一六年十一月末に至る十一ヶ月間の總計は三、一九九、二二〇噸即ち一ヶ月平均二九〇、八三八噸なり（一九一五年は二、九八八、五一七噸、一ヶ月平均二七一、六八三噸なりき。）

十一月中の銑鐵の輸出高は四三、〇七一噸にして一九一五年十一月中は七七、九五八噸なりき、一九一六年十二月一日に至るまでの積出高は七四九、七一五噸なり（一九一五年同期間は四四六、三六三噸）。上記の内五一八、二二八噸は佛國へ一二一、九五二噸は伊太利へ向けたるものなり。

十一月中に於ける滿鐵の輸出高は六、九〇〇噸なり（一九一五年十一月は八、〇〇〇噸）。十一月末に至る十一月間の總計は一一九、一三九噸にして一九一五年の十一ヶ月に於ける輸出高を超過する事凡そ二、九〇〇噸なり。

同じく棒鋼の輸出高は六〇、二四八噸にして其内五三、九六二噸は佛國に輸出せられたり（一九一五年十一月は五八、一二一噸）。一九一六年十二月一日に至る總計は一九一五年の同期間の四五三、四二六噸に對し五九六、二九七噸なりき。而してその内五〇三、七九五噸は佛國に向けられたり。

軌條の輸出高は一九一六年十二月一日迄の總計僅かに四七、九五八噸に過ぎず。

亞鉛引鋼板の輸出は漸次減少し十一月には二、〇四八噸となれり。一九一六年十二月一日に至る總計は一一五、七五

五噸なり（一九一五年は二七三、九四六噸なりき）。鉾力鉚の輸出は一九一五年と同一の率にて十二月一日に至る總計三〇七、四六二噸となれり。而してこの内六二、三六九噸は佛國に供給せられたるものなり。

十一月中の鐵及ひ鋼の輸入高は鐵鑛を除き五八、七七三噸にして十一月末に至る十一ヶ月間の總計は八二七、七七噸其の價格一〇、八四七、〇〇〇磅以上なり。

ブルーム、ピレット、及ひスラップの輸入高は九、八六五噸（一九一五年十一月中は一九、〇二〇噸十一月末に至る十一ヶ月間の輸入高は一九一五年の同期間に於ける四〇五、八八八噸に比し異常の減少をなし僅かに一四〇、〇七二噸なり）。

鐵鑛の輸入は相變らず多く十一月中は五一六、六五一噸にして十二月一日に至る總計は六、五〇五、一八三噸なり、

(The Iron Age, Jan. 11, 1917)

●米國に於ける十二月中の銑鐵

一九一六年十二月中米國に於ける銑鐵の産額は骸炭の供給不足により不趣減少せり、即ち十二月中に於ける骸炭銑鐵の産額は三、一七一、〇八七噸（日平均一〇二、二九三噸）にして十一月中の三、三二一、八一噸（日平均一二〇、三九四噸）に比し甚しき減少を見たり、十二月中或る處にては骸炭不着のため折々その操業を中止するの止むなきものありき。

毎日の製産高十二月中に於ける骸炭銑鐵及び無煙炭銑鐵の毎日の製産品は次の如し

製鋼用 市場用 合計

七四、〇二〇噸 二八、二七三噸 一〇二、二九三噸

一九一一年十二月一日及一九一七年一月一日に於ける熔鑛爐の能力 〓 次に示す表は一月一日及び十二月一日に於ける熔鑛爐の一日の能力なり、

地方名	熔鑛爐の數	一月一日		十二月一日	
		操業數	一日の能力(噸)	操業數	一日の能力(噸)
New York:					
Buffalo	一九	一五	四、五九二	一五	四、七三五
New York 地方	五	三	五三二	三	五六六
New Jersey	六	一	二一三	一	二二二
Pennsylvania:					
Lehigh valley	二一	一三	三、四六五	一三	三、八八九
Spiegel	二	二	二〇七	二	二〇〇
Schuylkill valley	一二	九	二、三三四	九	二、三五六
Lower Insnuelanna	六	五	一、三五五	五	一、四四九
Lebanon valley	七	六	八五二	七	一、〇二一
Ferro & Spiegel	三	三	一六八	二	一四八
Pittsburgh 地方	五三	四三	二一、三〇五	四九	二二、八一〇
Ferro	三	三	六六七	三	七〇五
Shenango valley	一九	一九	五、八八七	一九	六、二八〇
Western Pa.	二四	一六	四、六五三	一九	五、九八〇
Ferro & Spiegel	三	二	一一一	二	一二四
Maryland	三	三	一、一八三	三	一、二五一
Ferro	一	一	一〇九	一	八四
Wheeling 地方	一四	一三	四、三五八	一四	四、六七五
Ohio:					

二九八

Mahoning valley	二五	二二	九、八七四	二三	一、〇一三
Central & Northern	二二	二一	七、七〇七	二三	九、〇二〇
Hocking valley, hang					
Rock & S. W. Ohio	一五	一二	一、五五〇	一〇	一、四七六
Illinois & Ind.	三五	三三	一六、一三八	三三	一七、一五六
Ferro	二	一	九七	一	一四九
Michigan, Wis. & Minn.	二	一〇	二、七一四	一一	三、一二九
Colorado & Missouri	六	四	一、二八〇	三	九〇〇
Ferro	一	〇	〇	一	九九
The South					
Virginia	八	九	一、二四六	八	九六九
Kentucky	五	四	五九四	四	六六六
Alabama	三七	二八	七、五八〇	二八	七、七四三
Ferro	一	一	三三	一	六〇
Tennessee	一五	九	一、一六一	九	一、一四三
合計	三九九	三二二	一〇、九七五	三二二	一〇、八二七

産額の地方別 〓 次表は一九一六年十二月中に於ける總ての骸炭及び無煙炭使用銑鐵の産額を地方別にして示せるものなり、

地方名

十二月中(三十一日間)

New York	一五四、四九六噸
New Jersey	六、六一〇
Lehigh valley	一一三、八六三
Schuylkill valley	六九、五四三
Lower Insnuelanna & Lebanon valley	七、三六三
Pittsburgh	六八一、一三三
Shenango valley	一八二、四八二

Western Pennsylvania

一七三、一二一

Maryland, Virginia & Kentucky

八二、五五四

Wheeling 地方

一三五、一〇二

Mahoning valley

二九九、九八八

Central & Northern Ohio

二四一、九三五

Hocking valley & Hanging Rock

四五、八一九

Chicago

五〇三、三〇九

Mich., Minn., Mo., Wis. & Col.

一二七、七七五

Alabama

二四五、一一一

Tennessee

三四、六〇八

合 計

三、一七一、〇八七

製鋼會社の製産高ハ製鋼會社にて製鋼用として製出せる
鉄鐵及び滿俺鐵並にスピールゲルアイゼンの量は次の如し
(参考のため十一月中のものも併記せり)

鉄 鐵(總計)

スピールゲルアイゼン及び
滿俺鐵

十一月中 二、四〇四、二二〇噸 四四、九七五噸

十二月中 二、二九四、六二〇噸 四三、四七〇噸

(鉄鐵總計中にはスピールゲルアイゼン及び滿俺鐵を含む)

鉄鐵の製産高の記録——一九一二年より一九一六年に至る
毎十二月の産額及一ヶ年の總計を示せば次の如し

	一年	二年	三年	四年	五年	六年
十二月中	二、三八七、七三	一、八八七、九〇	一、五七五、五五	二、一〇四、三三	二、一七〇、八七	二、一七〇、八七
一ヶ年合計	二、三八七、七三	三、〇七四、一〇	二、一〇四、三三	二、一七〇、八七	二、一七〇、八七	二、一七〇、八七

統計

●米國に於ける一九一六年中の鐵鑛

United States Geological Survey の見積によれば一九一

六年中米國の鑛山より探掘されたる鐵鑛は七五、五〇〇、〇〇噸に達するといふ、一九一五年は五五、〇九三、一〇〇噸なりき是等鑛石は一七八、九三四、〇〇〇弗にて賣却せられたるものなれば一九一五年に比し實に七七、〇〇〇、〇〇弗の増加なり、

●鉄力鈹の輸出

最近に於ける米國及英國よりの鉄力鈹輸出高を比較すれば次の如し

	米國より輸出	英國より輸出
一九一二年	八一、六九四噸	四八一、一二三噸
一九一三年	五七、八二二	四九四、四九七
一九一四年	五九、五四九	四三五、三九二
一九一五年	一五四、五四一	三六八、六〇二
一九一六年一月	一二、一七八	二六、二七一
同 二月	一三、五三四	二七、二八九
同 三月	二〇、三六四	三九、四八二
同 四月	二一、三八五	二三、三三七
同 五月	二五、五八五	四一、八六八
同 六月	二九、七五一	三〇、三五一
同 七月	一八、七六〇	三八、一七四
同 八月	一八、七五七	三四、一二四
同 九月	一八、七七〇	一九、二二六
同 十月	一四、一七七	一〇、九二九

●米國に於ける Tin Plate 及び Terne Plate の製産額(最近十一ヶ年)

	Tin Plate	Terne Plat	合 計
一九〇六年	四九一、二三八噸	八六、三二四噸	五九七、五六二噸
一九〇七年	四四四、九三三	六九、八四二	五一四、七七四
一九〇八年	四六八、二五七	六八、八三〇	五三七、〇八七
一九〇九年	五二六、七二二	八五、二三七	六一一、九五九
一九一〇年	六四七、六八八	七五、〇八二	七二二、七七〇
一九一一年	七一三、二二七	七〇、七三三	七八三、九六〇
一九一二年	八七七、五二六	八五、四四五	九六二、九七一
一九一三年	七六二、五八三	六一、一三六	八二三、七一九
一九一四年	八六五、九七五	六五、二六六	九三一、二四一
一九一五年	九八二、九五八	七二、九七八	一〇五、五九三
一九一六年	一、二七五、〇〇〇	七五、〇〇〇	一、三五〇、〇〇〇

備考 一九一六年は豫想以上(Iron. Age, Jan. 4, 1917)

●印度に於けるタングステンの産額

一九一五年印度の Burma に産出したるタングステン鑛の量は四六、二九三 Cwt. にしつゝ一九一四年は四三、七五二 Cwt. なりき。(一九一三年には三二、〇九一・五、一九一二年には二五、三五七)

この地方は世界最大のタングステン鑛産地の一つなり。大戦以前にありては鑛石の全部は獨逸へ向けられしも今は英人の手にて精煉せらる。最近の調査によれば一九一六年一月一日より十月七日迄の輸出高は二、七〇二噸なりといふ。

●露西亞に於ける一九一六年の鐵鋼製産額

露西亞に於ける銑鐵製産額は一九一六年六月末に至る六ヶ月間にて一、八一八、一九〇噸に達せりといふ。(一九一五

年同期間は一八八七、三八五噸、一九一九一四年は二、三六五、一〇八噸。)

一九一六年七月一日に至る鐵及び鋼の製産額は一、六二一、六二〇噸にして一九一五年及び一九一四年同期間は夫々一、六四四、二四〇噸及び二、一四七、一〇六噸なりき。一九一六年七月一日に至るまで、露西亞にて輸入したる鋼は實に一五五、一五一噸に達せり。

●米國に於ける一九一六年中鋼の輸出豫想

一九一六年に於ける鋼ビレット、インゴット及びブルームの輸出高は凡そ一、五〇〇、〇〇〇噸に達すべしと豫想せらる。十一月中の輸出高は十月九月の夫と一六二、六七九噸及び一六三、一〇四噸に對し一二五、〇三八噸なりき。而して十一月一日(一九一六年)に至るまで佛蘭西は七八四、六五七噸即ち全體の六〇パーセントを輸入し、英國は二〇〇、九六三噸を輸入せり。

●米國に於ける銑鐵輸出の激増

一九一六年十一月中の銑鐵輸出高は一〇二、七八六噸に達し新記録を作れり。十月中は一〇一、七五六噸なりき十二月一日に至る十一ヶ月の總計は五〇七、〇四六噸となれり。

●英國に於ける滿俺の輸入

一九一六年十一月中英國が輸入したる滿俺は三二、八五〇噸なり(十月中は三八三六〇噸、九月中は四二三八九噸)

十二月一日に至る總計は四一九六〇四噸にして一九一五年月期間は三三八、〇五三噸なりき。一九一六年十月末に至る十ヶ月間に於ける米國の輸入高は四九五、三〇〇噸にして英國の十一ヶ月間の輸入を超過せり、未曾有の事といふへし。

●加奈陀に於ける鐵と鋼

一九一六年中加奈陀に於ける鐵及び鋼の製産額は一九一五年のそれに比し二八パーセントの増加を見るへしといふ。而してその内鋼鑄塊及び鋼鑄物の増加四二パーセントと推測せらる。製造者よりの十一ヶ月間の報告により十二月中の製産高を豫想すれば一九一六年の總産額は鉄鐵一七七一、七二七噸、鋼鑄塊及び鋼鑄物一、四五四、一二四噸となる。これによりて見れば一九一六年中の製産高は新記録を作れり。尙一九一六年の電氣爐鋼は四三、七九〇噸となるべくこれを一九一五年の六一噸に比すれば其の増加度著しきに驚く。(Iron Age Jan.18, 1917)

●露西亞に於ける鐵及び鋼の輸入

L'Echo des Mines によれば過去三年間の自一月至六月の半ヶ年に於ける鐵鋼及びこれより作れる材料の輸入高は次表の如し。

	一九一四年 一月—六月	一九一五年 一月—六月	一九一六年 一月—六月
鐵	三〇、三六八	四、四〇六	七、八三八
鋼	八七三	四、四二二	一五、四三〇
計			

其他の材料

九〇、五三一 二二八、七九五

亞細亞側露西亞を通せる輸入の増加度は次に示す鐵及び鋼の輸入統計表にて明かなるへし。すへて鉄鐵及び軌條は次に示す如く歐洲側より輸入せられたるものなり。

	一九一四年 一月—六月	一九一五年 一月—六月	一九一六年 一月—六月
歐洲側よりの輸入	八三、六二二	二二、六五三	三六、一三四
亞細亞側よりの輸入	一一、〇四〇	三、九九六	一一九、〇一七
合 計	九四、六六二	二六、六四九	一五五、一五一

次表は露西亞の鐵及び鋼の輸入先を國別にせるものなり。

	一九一四年 一月—六月	一九一五年 一月—六月	一九一六年 一月—六月
米 國	一、七六九	一二五、八七一	四、二九八
英 國	一三、二六七	六、三〇六	一五、四六二
瑞 典	—	九、一八九	—

次には前記半ヶ年間に於ける鐵及び鋼の製産額、輸入高及び消費高を示す。

	製産高	輸入高	輸出高	消費高
鐵	一九一四年 二、三六五、一〇八	三〇、三六八	—	二、三九五、四七六
	一九一五年 一、八八七、六五五	四、四〇六	—	一、八九一、七九一
	一九一六年 一、八八八、一八〇	七、八三八	—	一、八六〇、二八
鋼	一九一四年 三、一四七、一〇六	九、六四七	七、一〇七	三、二六六、四二五
	一九一五年 一、六四四、七五〇	三、四三六	三、四八〇	一、六八八、〇〇一
	一九一六年 一、六二二、六〇〇	一五、四三〇	二、二八八	一、七五三、六六〇

鐵材及び鋼材

●輸出入貨物品別表(大藏省發行の大正五年十二月外國貿易月表中鐵及鋼に關するもの左表の如し)

第一 輸出貨物品別表

内國產品	大正五年十二月		大正五年累計		大正四年十二月累計	
	數量	價額(圓)	數量	價額(圓)	數量	價額(圓)
鐵管(斤)	一、二五四、四三〇	一、二七、四八二	七、五二七、一八五	九三〇、四二二	二、三九〇、九三〇	一九八、九三四
屑鐵及故鐵(斤)	一、八七三、五九五	一〇三、〇六九	六、九六二、〇三七	三五五、四四二	一〇、四五四、六三三	二五三、〇二九
鐵鍋及鐵釜		三四、七二三		三四五、〇九〇		六五、八二三
鐵製品		一、三八七、八六七		九、三五六、一二二		二、九四六、〇三八
人力車(輛)	一、四三二	四九、一三九	九、四六五	三四一、四八六	七、九三二	二五九、一二七
船舶(汽船)	二	四、五五三、九四六	六七	一七、一七八、六三五	七	三九八、五四〇
同(其他)		二、六六〇		四一、八九八		六二七、一〇六
機械同部分品及附屬品		六七七、八三五		三四、九四三、四五七		一〇、三二、一九三
石炭(噸)	九、九	二、五七三	三、五八五	七、一七〇、三	三、〇一八	六、二、三四一
石炭(噸)	一、四五、二六七	一九〇、六三六	二、九九三、〇〇三	二〇、四〇五、九六九	二、九〇〇、八七五	一九、二二六、七三五

第二 輸入貨物品別表

外國產品	大正五年十二月		大正五年累計		大正四年十二月累計	
	數量	價額(圓)	數量	價額(圓)	數量	價額(圓)
鐵鑛(擔)	二六、八四七	三八、八一	四、六六九、〇〇九	一、六七二、七四〇	五、一五三、九〇三	一、八一三、三一一

鐵道建設材料(其の他)	釘	帶	筒	線	屑	線	線	板	板	板	ワ	條	錠	塊	鐵	銑
鐵道建設材料(其の他)	類ドリベスバイキ	及	及	及	及	及	及	及	及	及	及	及	及	及	及	及
一、二五、三四四	二、六三七、三三〇	一、二五、二二三	二、六三四、一九四	一、一三、四〇七	四、一、二二〇	三、二六〇、四九六	五、三三、七四九	三、九一四、一二五	七、〇、四八六	八、三、五〇三	三、四九四、七〇五	三、八、六九一、七三二	三〇、一、二三三	三、四〇、五二三	三、二九、六六三	八、四六、七三〇
一〇三、三三〇	四〇七、四三〇	五〇一、六〇二	三、九、六八三	三〇、三四五	五、六、六五八	五、〇八、〇五四	八、五、六七九	六、九二、五〇一	一〇、八七三	六、八、一四	四、八七、七五五	三、一、二六、五一四	四二、一、八〇	九、四、九〇九	六、九、四四〇	一、五〇、七一九
七、五九五、六〇〇	三、九、一五二、八二五	六、一、七七四、一五六	二、八、〇九二、四二一	七、五八、七二一	五、一、三九、四五六	三、〇、七六六、二七七	四、七、七五、三三八	六、七、八四三、五三九	四、二、九八、九三五	一、二、六四、四八二	三、一、五〇〇、二〇三	二、三、九、四三〇、〇一六	六、二、七、六六七	一、二、七七四、三三五	三、二、八、六、四八六	一、五、六六、七三八
五、一〇、七〇七	五、〇、四四、三三八	二、一〇三、五三四	三、四、三四、五四四	一、八三、三三九	五、九、四、一六	四、三、三三、三六五	六、二、五、九九八	一〇、五、四三、一六九	五、九、六、一九〇	一、二、二、七九九	四、〇、七六、〇八二	二、二、五〇七、八九三	六、七、一九三	一、五、二、四六五	四、五、八、七六三	八、八、五、七三
一、五、四二、三九七	八、〇、七六、二〇九	六、三、五三、四二一	一、五、〇、一三、二七七	六、一、四、〇八六	二、一、六七、七四三	三、六、六四三、九一四	四、五、二〇、二九〇	四、五、九六〇、六三七	四、三、六二、一二四	六、七〇、九四七	一、六、七七四、四四二	九、七、七〇三、九三九	四、三〇、七二六	三、八、八四、三二二	二、五、六三、〇一三	九、六、五、二六一
六、三、四、〇六五	九、五、八、六〇五	二、〇〇、一九三	一、三、九八、一四三	一、一、九、二七五	一、五、九、〇一八	三、一、七五、三七七	三、八、三、二六九	五、〇、二八、五四一	四、三、三、〇八三	四、六、三、四九	一、〇、八〇、七四九	五、六〇、一、八三八	三、五、六、五三	三、二、七、七〇七	三、二、一、五六七	六、五、四、八、九五七

外國產品

大正五年十二月		大正五年累計		大正四年十二月累計	
數	量	數	量	數	量
一八	二〇〇	三九、四五五	四、二九六	三八、九五	一、八八二
二三四、〇六七	四七、三四五	二、七六、三五七	四三七、一三	一、二八、四〇〇	一五三、七〇〇
	五五、二三〇		二九八、九七五		六一九、一〇一
三	六三、四一八	二一八	七三、四八五	三〇	一六五、二六五
一七六	一二、四八〇	一、三五四	九一、九八五	二、六六七	一四五、八三七
一	二二八、四三〇	二	二二九、〇三〇	三	一、八八二、八二六
		一三	一〇、五八五、五一九	七	七五三、〇三八
	二七四、八三六		一、三六七、一四七		五七〇、〇七二
四〇、七五〇	三、九六六	一、一〇四、五三九	一一九、〇〇四	七〇三、三四三	六一、九一五
	六、二六五		一二〇、五四四		二二八、三三五
		二〇、九二五	三五、六九八	三三、二九二	二二、七五三
八七六	二、八三八	三三八、三七七	一七九、九〇八	二七三、四一七	一六三、一九六
二六	四〇	二四八、五四六	一一五、二四五	二二一、〇〇八	一一六、三六〇
	七〇、八三〇	六〇九、四〇二	三九一、九五八	九七八、六三三	五〇一、四〇六
一九七、九二八	一二五、六四九	九八三、四五七	七九〇、〇七九	三七五、四五五	二四三、一五六
二一、二三七	一五九、〇八三	三、一九七、三八五	一、七八三、四一四	二、三八九、九七二	八九〇、九一八
一九七、五六二	五九六、七四六	七、八三九、五八四	二、四〇八、五四三	四、六九一、八七一	一、三三五、五七九
二、一〇三	四九、七三六	二、五七六	六〇、八一〇	三、五七〇	八三、七二五
五五、八三九	四八九、八七一	五五一、六九六	四、二二六、四一四	六〇九、七九九	四、四八八、一三二

電線支柱同部分品^{並支}
 家屋橋梁船舶等建設材料^{架用材料}
 鐵道車輛及部分品
 自動車及部分品
 自轉車及部分品
 汽船（船齡十年以下）（隻）
 同（其）（他）（隻）
 汽罐同部分品及附屬品
 フューエルエコノマイザー（斤）
 鐵道機關車同炭水車
 蒸氣機關及スチームタービン
 瓦斯石油熱氣機關
 ウォータータービン及ベルトン水車
 發電機電動機類
 縫衣機
 金屬工及木工機械
 紡績機
 石炭コークス（石炭）（噸）

●大正五年十一月中本邦鐵及重要金屬並炭坑
産額表(農商務省鐵山局調)

鐵の産出狀況

鐵山名	所在地	大正五年十一月	大正四年十一月
釜石	岩手(銑)	二、九七四、〇〇〇 _{佛電}	一、五〇三、六〇〇 _{佛電}
仙臺	同(銑)	一、九四七、九〇〇	一、八四六、六〇〇
木	同(銑)	三、四一五、八〇〇	三、六〇〇、八〇〇
重要金屬の産出狀況		二、六三三、三〇〇	一、八〇〇、〇〇〇

重要金屬名

金屬	大正五年十一月	大正四年十一月
金	一六〇、一三七 _匁	一九三、四七九 _匁
銀	四、三四七、一三〇 _匁	三、七一四、五六二 _匁
銅	一、二、三九一、三四八 _匁	一〇、二二四、一四五 _匁

石炭の産出狀況

鐵山名	所在地	大正五年十一月	大正四年十一月
鐵山	石狩	一〇八、六四一 _{佛電}	八三、七二一 _{佛電}
夕張	同	一四、〇一〇	一四、六一六
眞谷	同	二四、二一三	二六、七四一
新夕張	同	一六、五一七	一八、三〇七
空知	同	七、六五四	八、七九〇
淺春	同	一七、四三〇	一五、七四八
幌內	同	一〇、七五二	七、三三四
奔別	同	一三、四二九	一四、六五三
三井登川	同	六、六九〇	七、七一〇
大夕張	同	二六、三六四	一七、二一〇
三菱美唄	同	二八、一二二	四四、〇九六
入山	福島	一八、一六一	一九、九九九
小野田	同	三七、一八九	四二、一三四
內郷	同	六、一二八	四、四〇四
王城	同	三八、一二八	二四、四六二
好間	同	八、三八四	五、三七三
隅田川	同	五、一三四	四、〇七九
平	同		

統計

茨城無煙	茨城	一四、五三〇	一四、三〇九
重内	同	四、六四四	七、二三四
山口無煙	山口	六、九九五	四、四八〇
茨城	茨城	一〇、八五〇	一〇、三〇八
千代田舊姓(清田)	同	一、九九五	五、〇六一
松浦	長崎	六、四二二	四、八六〇
高島	同	一九、〇五九	一四、七三六
松島	同	二四、五一〇	二四、五七七
崎戸	同	二七、三三三	二三、一五六
香島	同	三、〇四七	二、四三六
福山	同	六、七七四	八、三一二
沖ノ山	山口	二五、九七八	一九、三五四
大嶺海軍	同	四、二〇七	四、三八〇
東見初	同	一六、一三八	一、九五〇
大正	福岡	二、六〇三	四、九二五
大江	同	二二、五六四	二五、〇四二
高江	同	一七、〇一一	九、一七七
新海軍	同	六、四九〇	一〇、六四四
新原	同	二一、三〇〇	二二、二六六
岩崎	同	六、六八一	八、四一八
御入	同	八、三三六	八、五四〇
新好	同	三二、一五五	三〇、五八四
三浦	同	七、一三〇	六、八二五
大之浦	同	六七、五六一	六二、一三四
明治	同	四一、九〇二	三五、三八八
三井本洞	同	一九、五五八	二〇、二四一
鹽屋	同	三八、八三六	三五、四六〇
目屋	同	一四、六一二	八、六六七
木屋	同	二一、六四〇	一二、五四六
金田	同	二四、三五七	一四、五八八
大峯	同	一〇、六九一	九、七六二
赤池	同	八八、〇二八	七六、一七九
三井田川	同		

第貳號

四六、四三〇	三八、四四一
四二、五七八	三八、九一六
六三、二五五	四五、六一九
二八、一五五	三五、一四九
一六、二八〇	一四、一三七
三六、八五二	三五、八六五
一六、四三七	八、七五二
三四、一四三	二四、六三二
二四、九六三	一九、一七六
一〇、八五四	二一、一六三
一六〇、七〇三	一三六、二五二
一八、五八八	一六、六七二
一三、三九四	八、三一〇
一〇、二五六	五、〇五九
四、四九四	六、三九四
四、五七一	四、五七二

五、七七〇	五、五九〇
一〇、四四三	四、六四〇
四、〇六四	六、一六七
五、六三八	四、四〇五
八、六二六	七、六四一
四、〇六三	四、九九九
三、一〇一	四、六五八
五、一三一	三、六八五
一二、五八四	一〇、九二八
一〇、一八〇	六、一二二
九、六六三	八、六三六
三三、八一三	二一、四〇九
四〇、八一七	三六、四七一
四六、一〇九	二五、六三〇
一五、四九三	一四、六一一
四、七九七	三、五六八

品名	年	最低	最高	最低	最高	最低	最高	最低	最高	最低	最高
銅	十一年	一一、一〇	五五、〇〇	一七、五〇	八〇、〇〇	一八、四〇	一四、五〇	一三、八〇	二二、〇〇	七〇、〇〇	三三、五〇
錫	十一年	六五、一七	五六、二七	八九、〇〇	七八、〇〇	一五、〇〇	一三、〇〇	一一、五〇	九三、〇〇	二〇、五〇	一七、〇〇、〇〇
亜鉛	十一年	六四、一五	五五、二二	九三、五〇	八二、〇〇	一六、三〇	一四、五〇	九、八〇	八五、〇〇	一八、五〇	一四、五〇
鉛	十一年	六三、一九	五三、七八	一〇五、〇〇	九〇、五〇	一六、七〇	一五、七〇	九、一〇	八二、〇〇	一六、五〇	一五、二〇
正元	十一年	六四、一二	五四、一七	一三三、〇〇	一〇五、〇〇	一八、七〇	一三、三〇	一〇、〇〇	八三、〇〇	一七、五〇	一五、〇〇
大正	十一年	八〇、三九	六二、一七	一四四、〇〇	一一五、五〇	一八、〇〇	一六、五〇	一三、五〇	九、九〇	一八、五〇	一三、七〇
二	十一年	七七、一五	六二、二二	一四、〇〇	一〇九、〇〇	一六、五〇	一四、四〇	一三、〇〇	一〇、八〇	一七、〇〇	一二、五〇
三	十一年	六七、〇〇	五三、〇七	一〇〇、〇〇	九三、〇〇	一八、五〇	一二、五〇	一八、五〇	一二、〇〇	一一、五〇	一一、五〇
四	十一年	八七、七六	五七、一五	一一、〇〇	九二、五〇	七〇、〇〇	一六、〇〇	二五、〇〇	二二、一〇	八三、〇〇	三二、〇〇
五	十一年	一四、〇〇	八四、一七	一六、〇〇	一〇四、〇〇	五五、〇〇	三三、〇〇	四一、〇〇	一八、五〇	八三、〇〇	二七、〇〇

一、本表中銅は倫敦銅先物相場一噸に付、他は大阪に於ける百斤に付ての標準相場なり（單位圓）